

2019年度 社会福祉法人キリスト者奉仕会 事業計画

～共に生きる社会の実現に向けて～

I. はじめに

1983年山の上に重度身体障害者授産施設を設立し、今日までに様々な事業を展開してきました。

近年は、「障がいがあろうとなかろうと、当たり前地域で暮らし、地域で働く、『共に生きる』社会の実現を目指す」ことの取り組みとして、就労事業の充実および地域生活移行に向けた支援を進めているところです。

その歩みの中で、昨年度は新勝立地区に大牟田恵愛園の住まいの場、日中活動の場の移転新築工事が完了し、念願であった「山の上から地域（街の中）へ」の事業展開を実現しました。

また、2007年より「施設暮らしから地域生活への移行」等を進めることを目的として、グループホーム・福祉ホーム（暮らしの場）の事業を展開し、今後も更なる暮らしの場の展開を計画しています。

今後、共に生きる社会の実現に向けて、更なる歩みを進めていきます。

II. 事業計画

1. 募金活動 【募金目標・350万円】

(1) 日本バプテスト連盟を中心とした全国の諸教会へ呼びかけ。

①年次総会 ②九州バプテスト大会 ③南九州地方連合の諸集会

(2) 地域の団体、企業への呼びかけ。

(3) 法人と関わりのある人たちへの呼びかけ。

(4) 恵愛友の会 【今年度目標会員数・100名】

①日本バプテスト連盟の諸教会 ②利用者及びその家族 ③役員、職員及び家族

<会員種別>

大人	一般会員	一口	500円/月
	特別会員	一口	1,000円/月
	学生会員	一口	300円/月
	団体会員	一口	5,000円/月

2. 行事計画及び会議

(1) 恵愛まつり（10月19日）

(2) クリスマス祝会（12月13日）

(3) 理事会・評議員会

(4) 日本バプテスト社会福祉事業団体連絡協議会（8月5日～6日）

（イ. 夏期職員研修会 ロ. 理事会）

3. 研修会 別紙資料

4. 今後の主な取り組み

(1) 大牟田恵愛園および恵愛ワークセンターの段階的な地域移転

(2) グループホーム・福祉ホーム等、暮らしの場の地域展開